

どのような社会を作りたいか

デジタル

学校を、リアルな個々の教室を単位としてのみ機能させるのではなく、リアルな教室を越境し、柔軟にデジタル空間で結ばれた学校として構想したい

➡ 挑戦1: 広域交流・ネットワーク型小学校というシステムは存立しうるのか?

シティズンシップ

教室を、知識・スキルの伝達だけでなく、答えのない公共的課題をめぐって対話(対立, 合意, 提案, 批評)する公共圏に変えたい

➡ 挑戦2: 公共的課題をめぐるとして学校を構築できるか?

シティ

学校を、子どもの占有物にするのではなく、学校を、子どもと市民が協働して公共的課題をリアルに対話する場につくり替えたい

➡ 挑戦3: 中山間地/島嶼部の学校を存続させる思想と技術を確立できるか?

左の挑戦を支援する組織を立ち上げる、企業と連携する



教室を社会と一体化した学びの場として再指定する



公教育を公共的課題を考える場・制度として再構築する



学校の適正規模・適正配置のあり方を再定義する

戦略Ⅰ：シティズンシップの形成

【コンテンツ開発ユニット】
川口 広美 (市民性教育)
金 鍾成 (歴史対話, 国際理解)



2023年10月

2025年10月

2028年3月

授業デザインモデルの構築・拡張・実証

研修デザインモデルの構築・実証

1st: コミュニティの公共的課題

2nd: デジタル化社会の公共的課題

3rd: 公共的課題の学習支援体制

【方法】

デジタルな空間を
媒介とした他者との交流
(オンラインによる遠隔教育)

【方法】

デジタルな空間を
媒介とした他者との交流
(オンラインによる市民教育,
僻地教育支援, 不登校支援など)

【カリキュラムのアーカイブ化】

- ① マニュアル+解説動画
 - ② デジタル教材
 - ③ 実践記録+実践動画
 - ④ 単元デザイン解説書
- 他の市町への展開のために



【内容】

地域社会で生じる対立・
格差や将来デザインに注目
(安全・治安, 買い物弱者,
産業振興, 多文化共生など)

【目標】

公共的対話による
デジタルな公共圏の構築
(SNSを使った表明, 政策提案,
合意形成, 請願など)

【内容】

デジタル化社会で
生じる課題や倫理に注目
(ネットいじめ, デジタルタトゥ,
著作権, 通販, 健康管理など)

【目標】

公共的対話による
デジタルな公共圏の構築
(SNSを使った表明, 政策提案,
合意形成, 請願など)



【教員研修プログラム】



学習指導要領
社会科の内容項目に準拠

欧州評議会,
日本デジタルシティズンシップ協会等の提案を参照

戦略2：シティの拡張と市民参加

【社会基盤開発ユニット】

滝沢 潤(教育行政・教育制度)



2023年10月

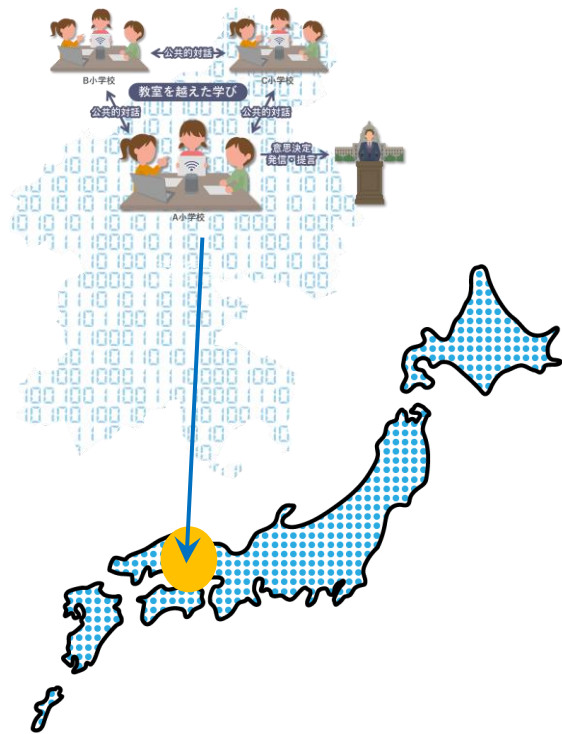
2025年10月

2028年3月

市民の学習参画システムの構築・実装

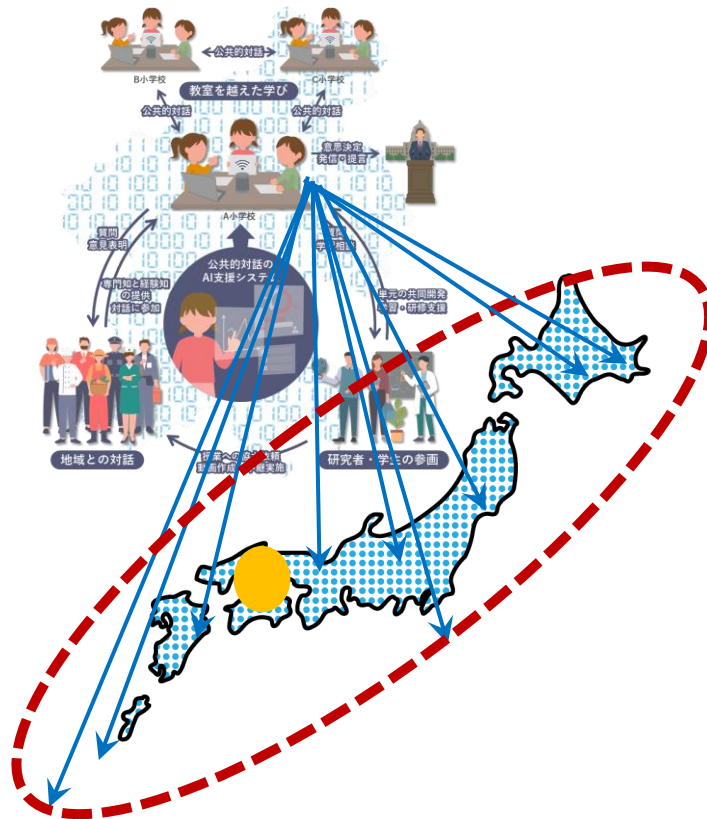
1st: 東広島市拠点型DCCの確立

東広島市の児童・生徒が参加



2nd: 東広島市plus交流型DCCの形成

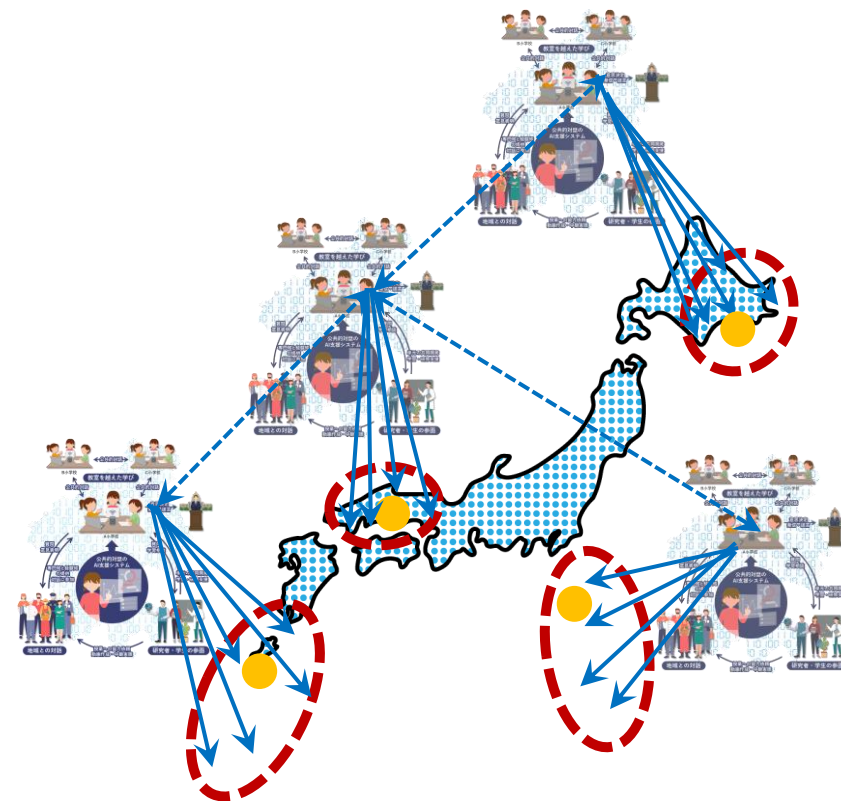
全国の多様な児童・生徒, 保護者・市民等が参加



市民の受容・評価要件の解明

3rd: 全国自立拠点型DCCの萌芽

保護者・市民等の参加支援システムの構築



戦略3：デジタルな新環境の構築

【AI技術開発ユニット】

渡辺 健次 (情報ネットワーク)

隅谷 孝洋 (学習支援システム)



2023年10月

2025年10月

2028年3月

AI学習支援システムの構築・実装

システムの活用法開発と改善

1st: 教室・学校をクラウドとリアルでつなぐ

2nd: 教室・学校をデジタルでつなぐ

3rd: 教室・学校をデジタルで主体的につなぐ

全体進行の教員のファシリテート

AI学習支援システムの活用+教師のファシリテート

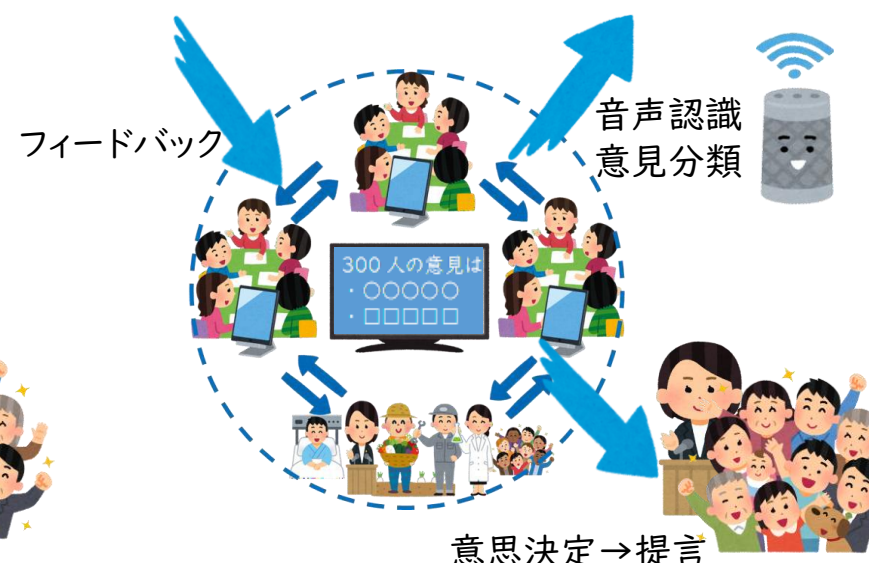
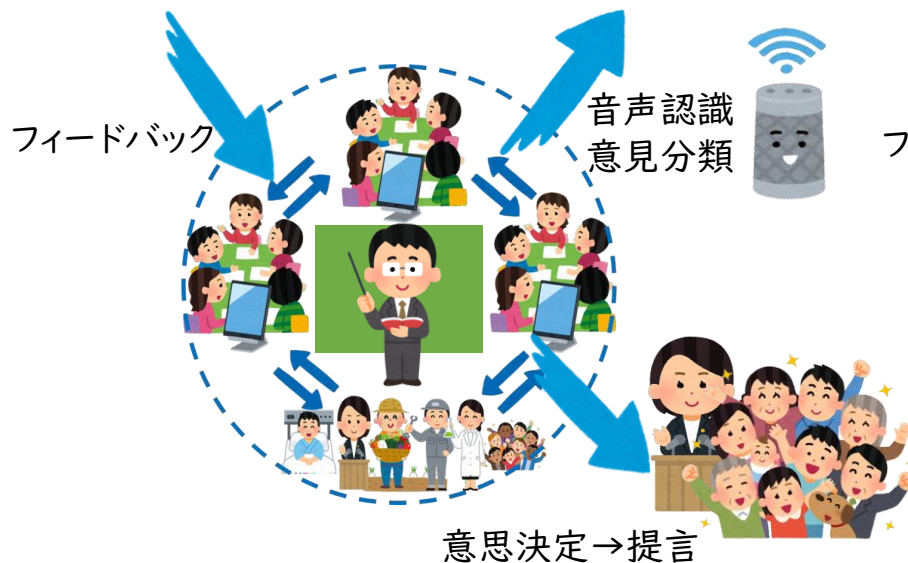
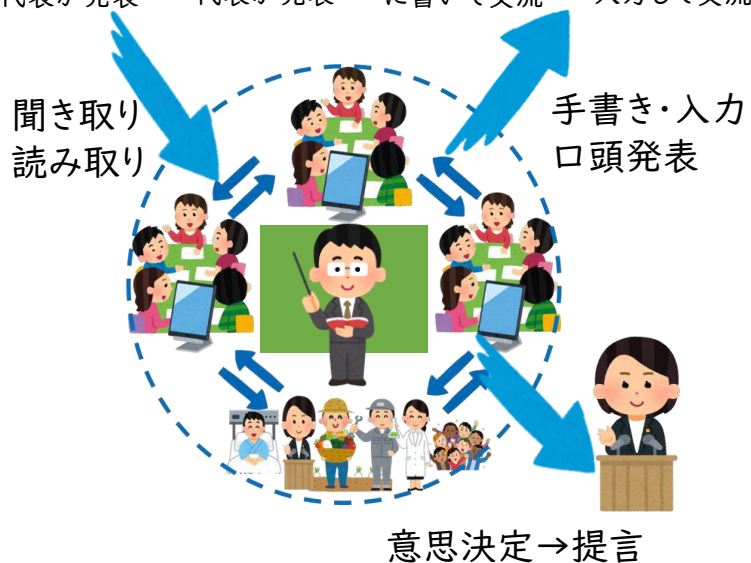
AI学習支援システムの活用+学習者の自己調整



口頭で代表が発表 紙に書いて代表が発表 ホワイトボードに書いて交流 オンライン上に入力して交流

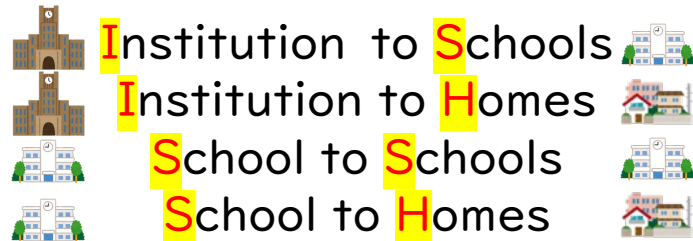
- ・全体で意見はどのように割れている？
- ・A説, B説, C説...の支持率はどのくらい？
- ・全体として合意が得られそうな意見は？
- ・X校Y組で出ている意見をざっくり箇条書きして！

- ・複数言語に対応
- ・教師と子どもは学習計画をAIに相談
- ・子どもは意見分布を自律的にAIに照会
- ・子どもは自分たちの意思決定・提案にAIを活用



新しい公教育のためのプラットフォーム

学習空間マッチングアプリ: TSUNAGU



公教育のコンセプトを変える, 空間的距離を無意味にする
教員の働き方を変える, 教員の得意を活かす



- 遠隔授業を提供したい国内外の **I** (大学, 教育委員会等の機関) と **S** (学校, 教師等) が
 - ・実施時期, 時間
 - ・学年, 教科・領域, 単元, アピールポイント
 - ・参加学級の上限数
 - ・地理的範囲等の条件等を登録。参加を呼び掛ける

- 登録情報を参照し, **S** (学校, 教師) や **H** (家庭) が参加したい授業の条件を入力する

- アプリで **I-S-H** の希望をマッチングさせる
事前打ち合わせや情報共有はアプリ内で完結できる

- ただし, AI学習支援プログラムの利用, 特別授業の参加, 授業デザイン・実践スキルの研修, 人的サポートの派遣, 履修証明の発行等については, **有料**とする

持続的な運営支援
NPO/企業の立ち上げ

デジタル・シティズンシップ・シティ
の自生と拡張を支援